

◆演題◆

青天の霹靂！  
ステージ4の癌患者となって考えた事。



2023年度 緩和ケア  
合同検討会議

癌領域の医薬情報担当者として、癌に関してはそれなりの知識を持っていると自負していた自分が、まさかステージ4を宣告されるまで気づかなかったとは！

私は、2022年8月に希少癌である膵神経内分泌腫瘍と診断されました。既に肝臓への無数の転移と遠隔リンパ節転移があり、予想していなかった人生の終わりが、突然、目の前に現れた感じがしました。発覚までの経緯、当時から現在までの心境、患者として感じた事をお話できればと考えております。

リサイクル適性 (A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

完全 web 開催 (zoom ミーティング)

※事前申し込みが必要です

2023年12月17日(日) 10:00 ~ 11:00

9:45- 入室開始

10:00- 講演「がん治療における病状説明と地域連携」緩和ケアセンター長 梶浦 新也

10:20- 特別講演「青天の霹靂！ステージ4の癌患者となって考えた事。」池永 一

10:40- 質疑応答



◆講師◆

池永 一

Hajime Ikenaga

ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社  
ヘマトロジー・オンコロジー事業部門  
中日本営業部 石川・富山・福井営業所エリアリーダー

1971年1月生まれ。兵庫県出身。

大学卒業後、求人広告企業の営業職として社会人キャリアをスタート。2000年8月より某外資系製薬企業にて、医療用医薬品業務に携わり、2017年1月、BMSKKに転職。オンコロジー部門で免疫チェックポイント阻害剤（呼吸器、泌尿器、頭頸部領域）を担当。妻と高校生と中学生の娘と富山市に在住。マサチューセッツ州立大学大学院 MBA 上級課程、12月終了予定。

お申込みはこちらから

右記の QR コードを読み取って  
お申し込みください



主催：富山大学附属病院 総合がんセンター  
お問合せ：076-434-7808

申込期限

2023年 12月11日(月)